



◆ 学習指導要領と学習評価について その1 ◆

学習指導要領は、文部科学省が告示する学校の教育課程の基準であり、約 10 年ごとに変わります。令和 3 年度の改定により、『一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓（ひら）き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること』が求められています。



そして、現行の学習指導要領では、子どもたちの学びは以下のように示されています。

- 主体的・対話的で深い学びの視点で「何を学ぶか」ではなく「**どのように学ぶか**」を重視。
- 社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、3つの力をバランスよく育む。

【3つの力】 ① 学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など
② 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能など
③ 未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など

学習評価の考え方も変更されており、各教科の評価の観点は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で全教科統一されています。➡ その2に続きます

◆ 教育委員会による学校視察がありました ◆

昨日（11月21日）、唐津市教育委員会及び西部教育事務所北部支所による学校視察がありました。教育委員会からの学校視察は2年に1度行われるもので、前は、令和4年度に行われていました。学校から、学校の取組や生徒の状況を説明し、午前中いっぱいをかけて授業参観が行われました。教育委員会からは、生徒たちが笑顔で挨拶をしてくれたことに大変気持ちよかった。学校環境が整っており、生徒たちが楽しく授業を受けていたと指導講評を受けました。

◆ 原子力防災避難訓練を実施しました ◆

先日（11月20日）、令和6年度の原子力防災避難訓練（原子力災害を想定し屋内退避する訓練）を実施しました。具体的には、屋外にいる生徒を速やかに屋内に退避させ、その後、ドアや窓、カーテンを閉め換気扇やエアコンを止め外気が入らないようにするというものです。

なお、津波による災害の場合は、本校生徒は、株式会社ヨコヤマ（横山米飯工場）に避難することになっています。また、校区内の危険箇所マップや通学路マップについては本校ホームページに掲載しています。



■先日、私と同年のボンネットバスに乗った ■どちらも昭和 40 年式の 59 歳 ■バスと私を比較してみると ■
（バス）いすゞBXD30 型 ■川崎航空機工業製造 ■6 気筒ディーゼルエンジン ■6370cc ■130 馬力 ■
（私）丹野到 ■唐津赤十字病院生まれ ■178cm・70 kg ■1 人力 ■どう見てもバスが強そうだ（イタル）